

たけた

市議会だより

2011.5.1

No. 23

シリーズ

若者

お見知り遠足で、稲葉ダムひょうたん島公園を訪れた
宮城台、城原、白丹各小学校の児童たち



シダレザクラを植樹



わたしたちの思いが届きますように…。

震災の被害がなくなつて
みんなが笑顔で楽しく生活できる
ようになりたい。

「聖域なき構造改革」

から10年

平成13年、当時の自民党小泉内閣が掲げた地方分権へのスタートだった。地方への権限移譲は、三位一体の改革と同時に進行するはずであったが、実際には税源移譲は遅れ、国庫補助金は削減され、地方交付金は見直され、地方の自治体にとっては「想定外」のこととなり財政が逼迫する中、合併特例債という飴に飛びつく「平成の大合併」が行われた。

結局、予備期間なしに突然実施した聖域なき構造改革は、地方自治体の自立を遅らせたのではないだろうか。竹田市も合併特例期限が終了する平成27年度までの残された期間の取り組み方しだいで自治体の存続が問われる。「想定外」にならないように議会はあるのだから。

(編集委員 渡辺龍太郎)

平成23年
第1回定例会

予算特別委員会報告

178億7、350万円

平成23年度一般会計当初予算を可決

予算特別委員会
委員長
佐田 啓二

3月15・24日の両日、第1回定例会・予算特別委員会を開催し、平成22年度一般会計補正予算（第9号）案と平成23年度一般会計予算案を慎重審査した。

補正予算第9号については、歳入歳出ともに5億628万4千円の減額で予算総額は169億9、834万8千円となった。

特徴としては、歳出では財政調整基金9、959万3千円と新設の「住民生活に光をそそぐ交付金基金」に1、220万円を積み立て、国民宿舎久住高原荘事業特別会計に1、788万5千円を繰り出



し、災害復旧費を4億7、472万2千円減額するとした執行部案を全会一致で可決。平成23年度一般会計予算については、歳入歳出ともに178億7、350万円で前年度当初比14億6、670万円8.9%の増額となった。

主なものとして、小規模

（29床）の介護老人福祉施設2施設の建設補助金2億7、680万円、リサイクルセンター1建設費（6億5、415万円で落札。3月24日議決）、農林業費では、トマトハウス大規模リース団地事業補助金1億1、497万5千円など全体で19億2、107万4千円11・9%増。商工費は、九州新幹線の開通に伴う熊本・阿蘇地域との連携した取り組みや「YOKAROバス」運行補助金など1.7%増。土木費は8億9、252万8千円で1%増。教育費は一連の耐震補強工事等が終了したため13億7、069万6千円7.5%の減。歳入では、市税は1%減の18億3、841万5千円、地方交付税は8.9%増の86億円を見込んだ。審査の結果、起立多数で原案を可決した。

被災地の早期復興を願って

この度の東北地方太平洋沖地震により、甚大な被害を受けられました被災地の皆様に心からお見舞いを申し上げますとともに、尊い命を奪われた多くの方々に衷心からの哀悼の誠を捧げ、ご冥福をお祈りいたします。

筆舌に尽くしがたいとは、まさにこのことを言うのでありましょう。巨大大津波によっていくつもの町が丸ごと海の中に消え去ってしまいました。一瞬にして何物にも代え難い将来を奪われてしまった人々の無念さを思うと、言うべきいかなる言葉も見つけられません。被災地の人々がこの苦難を乗り越えて、一日も早く復旧から復興に向かう日を迎えられることを心から願っております。

竹田市議会議員一同



東日本大震災の犠牲者に黙とう(3/15)

竹田市議会では東日本大震災の義援金として音楽姉妹都市仙台市へ30万円、また全国市議会議長会を通じて日本赤十字社へ30万円を送りました。

代表質問

毎年1回3月定例会において、会派（3名以上の議員で構成）の代表者が具体的政策について質問するものです。3月9日に4会派の代表者による代表質問が行われましたのでお知らせします。

なお、原稿は議員本人が執筆しています。



仁政クラブ
和田 幸生 議員

市長選時の公約の 取り組みについて

和田 首藤市長就任から2年を経過したが、立候補の際に掲げた公約に対して、2年間の取り組みと残り2年間に向けての決意の程を聞きたい。まず「市長給与30%カット」の効果と今後の取り組みは。市長 経済的好転がない限り継続する。副市長、教育長の15%、職員の給与カット等も継続し、その効果は1億2千万円と試算される。

和田 「国の政策をいち早くキャッチするため、非常勤の政策審議官と竹田事務所長を任用し、全国レベルの政策力をつける」の公約実施については。市長 非常勤の特別職として21年10月から政策審議官は2名、竹田事務所長は3名を任命した。効果は、農村回帰宣言市として移住定住政策構築に成果をあげている。

和田 花水月を再生し、赤字をストップさせる公約は。市長 営業時間を1時間早め、夜は延長し10時まで営業とした。また、滅菌剤を変えるなど対応した効果で、入浴者数が9万4千人に達する見込みである。

和田 ケーブルテレビは内容を再検討し無駄があれば云々とあったが、その取り組みと効果は。市長 引き継いだ際は契約済みであり、いかに市民負担を少なくするかを検討した。加入率は80%近くになり、使用料を200円減額した。市民チャンネルは、皆さんの参加型となって効果が発揮された。



新政クラブ
足達 寛康 議員

市有(教育)施設について

足達 未利用の施設はないか。財政課長 旧竹田中、旧祖峰中の2施設は利用法を検討中だ。

市有林について

足達 所有面積と樹齢は。財政課長 面積は1、122haで樹齢40～50年生が66%。



別府大学文化財研究部に貸付予定の
旧双城中学校

市政運営について



新風会
森 哲秀 議員

森 市長就任後運営の成果と今後市民が安全で安心して暮らせる竹田市づくりは。市長 旧1市3町が合併してそれぞれの地域が独自に築いた歴史文化、地域の魅力に磨きをかけ、個性を確立させながら一体感を持ち、振興に当たりながら政策立案を行って来た。市民の協力で数多くの成果が生み出された。TOP懇談会で意見をまとめ、67のプロジェクトが立ち上がり、現在一つ一つを実践している。

足達 前定例会にて議員や多くの農業団体より「TPP参加反対」の意志表示があり、市長も本市農業への危機感を募らせたにもかかわらず、いまだ動きがない。市民大会を開催すべきだと思うが。市長 市民の要望があれば考える。

農業施策について

足達 戸別所得補償制度中、耕畜連携の具体的内容は。財政課長 対象作物ごとに交付金を支払うが、3年間以上利用供給協定を結ぶことで10a当たり1万3千円上乗せさ

今後、少子高齢化過疎化対策、農業振興を図りながら企業誘致に全力で取り組む。



市民の意見を反映したまちづくりを目指して(1/27)

森 合併特例債の活用は。財政課長 合併市町村のまちづくりのために、建設事業を行うことに対しての財政措置で合併年より10年間地方債を以って財源とするもので、約59億7千万円の上限枠があり、平成22年度末までに36億5千万円借り入れする予定である。今後は、公共施設整備計画に基づき、平成25年度までの借り入れ予定額は、15億2千6百万円を計画している。

森 全国学力調査の結果と学力向上に向けての対策は。学校教育課長 小学6・中学3年生が対象で、今年より国の抽出で実施となり、小5校

・中3校で行った。小学校は県・全国平均を下回った。中学校は県・全国平均を大きく上回った。結果を受けての対策は、南部小と竹田南部中を市の学力向上推進校として指定し、研究を進めている。今年度の取り組みの成果は市内研究担当者会を開催し、各学校に普及した。来年両校による中間成果発表を計画している。



緑風会
中村 憲史 議員

当初予算編成に当たって

中村 市財政をどのようにとらえているか。

財政課長 前年に比べ財政に弾力性が出てきた。

中村 予算編成に当たっての指針は。

市長 基礎自治体の自立を目指すし、市民とのあったか行政を通して竹田らしい、竹田にしかできない取り組みを行う。中村 今日までの行政改革をとらえ、事業の選択が求められるなかでの重点事業は。

財政課長 農村回帰、高齢者福祉の充実、地域学の推進、ローカル外交、農業振興、農業後継者対策等々に取り組む。

観光振興について

中村 日本一のマラソン練習コースを利用される多くの選手の宿泊を市内へ。

生涯学習課長 久住高原観光協会や九州アルプス商工会と共に取り組む必要がある。

中村 県中学駅伝を誘致しては。ひいては全国駅伝も。

教育長 貴重な提言だと受け止めている。駅伝に限らずいろいろなスポーツを通して地域おこしを進められないか模索していく。



マラソンコースを利用する多くの選手の宿泊を市内へ!

農業振興地域について

中村 5年に一度の見直しが必要付けられているが、有効的な土地の利用を考えている。

か。
農政課長 旧1市3町が合併する以前も含めて、10数年見直されていないのが現状である。

一般質問

3月定例会では、3月10・11日の2日間、8名の議員が一般質問を行いました。
その内容を要約してお知らせいたします。



吉竹 悟 議員

観光戦略のあり方について

吉竹 エコミュージアム構想の政策実現への考えはどうか。
市長 市民感覚の再生・価値観の再生が重要。先ずは、東京大学による城下町報告会を開催する。

吉竹 久住登山者の、誘致を図るための整備をしてはどうか。

市長 ハードルは高いが、プロジェクトを立ち上げ考える。

吉竹 マラソンコースを指定管理してはどうか。
生涯学習課長 一部を行政財産とできるか、指定管理制度に馴染むか、関係団体との連携を含め協議したい。

吉竹 公の施設の現状は。

副市長 安全に関わる「大きな問題を抱える施設」はないが、経年劣化や腐食等で改修が必要な施設がある。指定管理予定は、「久住さやか農産加工所」「すこ農産加工所」がある。

吉竹 久住庁舎の利用方法は。
市長 新年度、行政・市民・議会と、協議機関を立ち上げ、公民館と併せて再生の道を切り開く。

合併特例債について

吉竹 10年間の時限立法だが、使用計画の組み立てには時間がない。案はあるのか。

市長 主なプロジェクトは①都市計画マスタープランによる地域振興（久住庁舎改装等）②城下町再生（図書館含む）③消防新庁舎建設④TSG（竹田総合学院）のためのハード整備⑤衛生センター長寿命化施設改修⑥文化会館改修事業⑦養護老人ホーム改修事業⑧歴史資料館改修事業⑨社会教育の充実（公民館）等が考えられる。



4/21 落成式が行われたすごう農産加工所
(道の駅すごうの西側)

子育て支援について

徳永 出産祝金交付事業の廃止の理由は。

企画情報課長 一時的な支援ではなく、全国初の5種類の予防ワクチン接種無料化など、出産子育て支援費5億9千万円の予算の中で、継続性のある支援事業に取り組む。

商工振興について



竹田-博多間を1日2往復 年間4,000円で乗り放題のYOKAROバス(4/1出発式)

徳永 プレミア商品券や竹田-博多直行バス(YOKAROバス)などの取り組みを契



徳永 信二 議員

補助事業について

機とし、商工観光業が活力を取り戻す、新たな受け皿づくりの展開が必要では。
商工観光課長 商工振興・魅力あるまちづくりのための受け皿づくりと、イベント等に取り組む。

徳永 数多くの補助事業があるが、農業者の目線に立った分かりやすい情報提供が必要では。

農政課長 今後も丁寧で分かりやすい情報提供に努める。また、何に取り組む、何をしたいのか、農業者の相談を受ける場をつくる。

徳永 情報の総合調整を図る内部組織の構築や、民間活力を導入する機関設置が急務では。市長 基礎自治体の自立を基本として、戦略的な地域づくりを進めるためにも、政策審議官等と協力しながら、政策を横断的なプロジェクトで組織化する。

火災警報機設置について

徳永 火災警報機設置の義務付けが行われるが、その内容は消防長 未設置の場合の罰則規定はないが、住宅火災によ

る逃げ遅れをなくするため、継続して設置の推進を図る。



阿部 雅彦 議員

竹田市教育のまちTOP運動の取り組みについて

阿部 特色ある学校づくりの取り組み状況は。

学校教育課長 小規模校・少人数学級の課題の克服に向けて継続的に取り組みを推進したい。

阿部 学校と地域の望ましい連携の姿をどう考えているか。教育長 大切なことは、学校が地域と一体となり、成長していくことが基本と考えている。



子供の笑顔は地域の宝

花水月の運営と経済活性化のための機能について

阿部 花水月の運営状況と観光センターとしての取り組みは。商工観光課長 運営は改善の方向にあり、年間10万人の利用者を目指したい。観光センターの核としては、福岡・熊本方面への宣伝に力を入れて情報発信をし、その受け皿づくりをしたい。

阿部 農村商社わかばの情報戦略を生かした取り組みは。農政課長 農家の生産情報や旅館などの納品要望を交流し合うなど農商の連携をはかれる情報戦略を進めたい。

男女共同参画社会に向けた取り組みについて

阿部 この一年の進捗状況は。また、男女共同参画宣言都市の標榜により、取り組みがより推進できる環境を整えては。総務課長 内閣府からの奨励もあり、その気運を高めるために各課において取り組みを進めている。宣言都市は考えていないが各種審議会における女性登用率は県下で4番目など、今後も研修をするほかにとのような対応ができるのかを考えていくようにしていきたい。



井 英昭 議員

公共施設整備計画書について

井 直入 氏は23年度の設計となっているが、当初予算に計上されていないのはなぜか。

井 直入 支所長 時期が熟せば23年度中に設計業務に入る。設計委託費として1千円を計上している。

井 本年度の定例会はあと3回しかない。いつ提案するのか。

井 直入 支所長 状況が許せば6月定例会に提案するのが適切と判断している。

井 市立図書館建設について伺う。公共施設整備計画書では24年度に設計で7百万円、25年度に建設で10億円の事業費が見込まれている。通常は設計の前に基本構想や建設場所が決まっている。基本構想は出来上がっているのか。

図書館長 図書館はエコミュージウム構想や都市計画マスタープランと密接に係る施設となるため、それらと整

合性を図ることや、広く市民の皆さんの意見を聞くための場作り、まちづくりや景観形成といった専門的な立場からの意見をいただくことで基本構想が明確になっていくと考えている。

企画情報課長 研究部門の発表を受けてTOPミーティングなどで合意形成を図りながら作り上げていく。

井 建設場所の用途は立っているのか。

図書館長 市民の皆さんと共通認識を持つことでこれから明確になっていく。

井 建設場所は城下町のなかを想定しているのか。

図書館長 白紙である。



渡辺 克己 議員

森林行政について

渡辺(克) 海外資本による森林買収が北海道を中心に各地で発生している。林業不振の中、本市で発生してもおかしくないがどのような対応をするのか。

農政課長 国において森林法をはじめとする関係法令の整備が検討されている。国県の動向を踏まえ情報の収集にある。

外国資本が日本の森を買いあさる
森林行政のあり方を考えるとき

渡辺(克) 森林整備計画策定の年であるが、森林整備計画の目標が大きく変化している。対応は。

農政課長 森林組合や所有者等関係機関と連携し、地元説明会を開催し、年度内の策定を目指す。

渡辺(克) 23年度からの事業実施(搬出間伐)での補助対象要件は5ha以上の面積で一定以上の間伐材を搬出することであるが、面積が大きいことから権利関係の調整等、事務量が増大することについての対応は。

農政課長 森林組合の役割が

重要である。市の体制については関係部局と協議していく。

渡辺(克) 事業に対して取り組みが遅いのではないのか。

農政課長 国及び県から細部にわたる説明がない段階であり、地元農家への説明はできない状況である。

渡辺(克) 間伐についての補助率についてはどのように考えるのか。

農政課長 間伐については現行通り13%上乗せで考えたい。

渡辺(克) 路網の補助はどうか。

農政課長 国・県で68%の補助率が廃止されそうであり、今段階では市の対応は決められない。

渡辺(克) 市内において皆伐後、植林がなされていない山林が目につくが、市として山林所有者に植林を促すべきと要望した。



日小田 秀之 議員

いじめ・不登校ひきこもり対策について

日小田 市内小中学校におけるいじめ・不登校ひきこもり児童(生徒)の実態と対応策及び市教委としての指針は。

学校教育課長 12月末時点の調査でいじめの認知件数は8校68件、30日以上の不登校ひきこもり児童生徒数は小学生2人、中学生10人となっている。教育相談体制の充実を図り、スクールカウンセラー・相談員・養護教諭等を活用し、相談に当たっている。

教育長 早期発見・早期対応を基本に、学校・保護者・地域が連携し、子供たちがコミュニケーション能力を身につける取り組みを進める。

日小田 児童虐待の防止と家庭相談員の空席について、どのように対処しているのか。

福祉事務所長 児童虐待については、関係機関と情報を共有しながら方策を講じている。家庭相談員については、配置の目処がついた。

福祉施設はくすいの開所 目的回復について

日小田 福祉施設はくすいのデイサービスは休止状態が長期化している。市の対処方針は。

日小田 本事業の対処方法と市長の所見は。
農林整備課長 農協側から調停を申し立てるとの通知があった。今後は条理に基づき実情に即した解決を図っていくことになる。
市長 司法に委ね、適切な結論を導き出したい。

大野川上流開発事業及び飛田川農地開発事業に係る覚書の対処方針について

福祉事務所長 社協も効率性、収益性を度外視して運営することは、不可能と思われる。



高齢者の給食サービスなどにも活用されているが、ディサービスの早期再開が望まれる福祉施設はくすい

住宅リフォーム制度の創設について



河野 泰浩 議員

農業について

河野 住宅リフォーム制度が全国200超の自治体で取り組まれている。中小業者の仕事おこしの施策は持っているが、総務課長 一般住宅全てが対象となる住宅リフォーム制度は、財政的に現時点では困難だ。
河野 参院で菅首相は2020年までに住宅リフォームの市場規模を倍増させ、今後この取り組みを支援すると答弁している。リフォームは補助金の20倍以上の多岐にわたる経済効果が見込まれる。今後この取り組みについて要望する。



大蘇ダム

足は心配ないか。
農林整備課長 大谷ダムは、貯水量40万tと満水時の40%で大蘇ダムは昨年から1か月30万tずつ減っている。2月に荻・柏原土地改良区を中心に国・県・市・農協等で対策会議をしたが妙案はない。3月中に再度協議したい。
河野 他市では井戸を掘り助成する所もあるが、竹田市はどうか。
農林整備課長 国の災害応急ポンプの貸付け制度を利用する。
河野 万全を願う。次に小規模災害(40万円以下)の対策は。
農林整備課長 当面は農地水環境保全事業や市単の土地改良事業を利用し、制度樹立に向けていく。

竹田市立竹田南部中学校校舎耐震補強増築工事について



渡辺 龍太郎 議員

渡辺(龍) 地元発注はどれほど行われたのか。
入札検査課長 4億2千万円のうち、直接地元が元請けになったのは3千万円で、約7%だ。
渡辺(龍) 竹田市以外が元請けになった部分で、地元にとれど発注があったのか。
入札検査課長 一次下請けで約3千万円、二次下請けや地元での材料調達を含めた額が、合計5千6百万円で率にして約13%だ。
渡辺(龍) この数字は一次、二次を含めて地元発注が行われなかったと理解してよいのか。
入札検査課長 大分県下でいろいろ試算されている中で換算してみると、元請けが多い方が地元落ちるトータルでは多い。
渡辺(龍) 当然のことと思う。では市外元請けに対して地元利用の促進は行っていないのか。



竹田南部中学校

入札検査課長 発注要項の中にできるだけ地元の者を下請けに使うよう文章に入れている。
渡辺(龍) 他地域の入札を調べると、臼杵市や豊後大野市では、評価点方式を取っている。これは地元には本社がある、防災協定を結んでいる、ボランティア活動をしている等を点数で評価をし、1点につき評価金額を地元企業に与えている。このような方式を竹田市はとれないのか。
入札検査課長 今回の工事後、又、過去を調べると、竹田市も総合評価型で入札をしている。
渡辺(龍) 公共工事の減少で地元企業も大変な時期にある。できるだけ地元発注が多くなるよう考えるべきだ。

平成 23 年第 1 回定例会 (3 月 3 日～ 24 日)

議案等の審議結果

議案第 4 号	平成22年度竹田市一般会計補正予算 (第9号) について	可	決
議案第 5 号	平成22年度竹田市長湯温泉療養文化館特別会計補正予算 (第5号) について	可	決
議案第 6 号	平成22年度竹田市国民健康保険特別会計補正予算 (第3号) について	可	決
議案第 7 号	平成22年度竹田市介護保険特別会計補正予算 (第4号) について	可	決
議案第 8 号	平成22年度竹田市簡易水道事業特別会計補正予算 (第5号) について	可	決
議案第 9 号	平成22年度竹田市国民宿舎久住高原荘事業特別会計補正予算 (第1号) について	可	決
議案第10号	平成22年度竹田市水道事業会計補正予算 (第5号) について	可	決
議案第11号	平成23年度竹田市一般会計予算について	可	決
議案第12号	平成23年度竹田市同和対策事業特別会計予算について	可	決
議案第13号	平成23年度竹田市立こども診療所特別会計予算について	可	決
議案第14号	平成23年度竹田市畜産開発事業特別会計予算について	可	決
議案第15号	平成23年度竹田市長湯温泉療養文化館特別会計予算について	可	決
議案第16号	平成23年度竹田市国民健康保険特別会計予算について	可	決
議案第17号	平成23年度竹田市後期高齢者医療特別会計予算について	可	決
議案第18号	平成23年度竹田市介護保険特別会計予算について	可	決
議案第19号	平成23年度竹田市簡易水道事業特別会計予算について	可	決
議案第20号	平成23年度竹田市農業集落排水事業特別会計予算について	可	決
議案第21号	平成23年度竹田市浄化槽整備推進事業特別会計予算について	可	決
議案第22号	平成23年度竹田市国民宿舎久住高原荘事業特別会計予算について	可	決
議案第23号	平成23年度竹田市国民宿舎直入荘事業特別会計予算について	可	決
議案第24号	平成23年度竹田市水道事業会計予算について	可	決
議案第25号	竹田市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同	意
議案第26号	竹田市公平委員会委員の選任について	同	意
議案第27号	竹田市職員の自己啓発等休業に関する条例の制定について	可	決
議案第28号	竹田市農産加工所条例の制定について	可	決
議案第29号	竹田市職員の給与の特例に関する条例の一部改正について	可	決
議案第30号	竹田市基金条例の一部改正について	可	決
議案第31号	竹田市分担金徴収条例の一部改正について	可	決
議案第32号	竹田市市営住宅条例の一部改正について	可	決
議案第33号	竹田市特定公共賃貸住宅管理条例の一部改正について	可	決
議案第34号	竹田市特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	可	決
議案第35号	竹田市特別会計条例の一部改正について	可	決
議案第36号	竹田市が設置する一般廃棄物処理施設に係る生活環境影響調査結果の縦覧等の手続に関する条例の一部改正について	可	決
議案第37号	竹田市はり、きゅう、あん摩マッサージ指圧施設利用助成金に関する条例の一部改正について	可	決
議案第38号	竹田市荻老人福祉センター条例の一部改正について	可	決
議案第39号	竹田市学校給食費徴収条例の一部改正について	可	決
議案第40号	竹田市と佐伯市との証明書等の交付等に係る事務の委託に関する協議について	可	決
議案第41号	竹田市と豊後大野市との証明書等の交付等に係る事務の委託に関する協議について	可	決
議案第42号 議案第57号	指定管理者の指定に関する件について	可	決
議案第58号	市道路線の認定について	可	決
議案第59号	和解及び損害賠償額の決定について	可	決
請願第 1 号	市道「西原山浦線」の危険箇所の改良工事についての請願	採	択
請願第 2 号	農業で暮らせる農業施策を求める請願	採	択
意見書案第1号	農業で暮らせる農業施策を求める意見書	可	決
議案第60号	工事請負契約の締結について	可	決
議案第61号	指定管理者の指定に関する件について	可	決
議案第62号	普通財産の無償貸付けについて	可	決
議案第63号	和解及び損害賠償額の決定について	可	決

あとがき

「災害は忘れた頃にやってくる」という言葉があるが、東日本大震災は未曾有の惨事となった。福島原発事故による放射性物質の放出を受け、25か国が日本の農産品の輸入規制に乗り出した。一日も早い解決を望む。

(後藤憲幸)

「鷹は飢えても穂を摘まず」という諺がある。鷹はどんなにひもじくても鳥や雀のように農民が汗水して作った作物を決して荒らす正義はしない。正義の人は窮しても不正はしないのたとえ。政治家もこうあるべきだ。

(足達寛康)

このメンバーでの編集は最後となります。多く書きたい議員と限られた紙面に悩む委員長を経験しました。簡潔でわかりやすい文章を目指しましたが、いかがでしたでしょうか。

最後に一言

「過ぎたるは猶及ばざるがごとし」

(井 英昭)